

| | | | | |
|-------|--------------------|--------|-------------------------|-------------------|
| 授業科目名 | 公衆衛生看護支援技術Ⅱ(集団・組織) | 担当教員 | ◎川上 裕子、鶴岡 章子、 高橋 由希子 | 科目ナンバリング NP302 |
| 選択 | 開講年次：3年前期 | 単位：1単位 | 授業形態：講義15時間 | |

【授業概要】

地域の健康課題を解決するために、地域の人々が主体的に参加できるセルフヘルプ・グループ育成から地域組織化への理論と支援方法を理解する。さらに、疾病・介護予防や健康の保持増進を目的とした住民組織の育成、地域の健康課題解決を目的とした住民組織との連携・協働の方法について学修する。併せて、地区組織活動を通じた住民主体の地域ケアシステム構築、ネットワークづくり等をはじめとするソーシャルキャピタルの醸成・活用の必要性を理解する。

【達成目標】

1. 地域の健康課題解決に向けた集団・組織の育成の必要性と支援方法を理解する。
2. 各種の住民組織との協働を通して、地域における疾病・介護の予防とヘルスプロモーション活動の方法を理解する。
3. 地域ケアシステムの構築、ネットワークづくり等を通して、健康なソーシャルキャピタルの醸成・活用の必要性を理解する。

【履修条件】

「地域の健康と看護」、「公衆衛生看護とヘルスプロモーション」、「公衆衛生学」を修得していること。

【授業計画】

| | |
|---------------------------------|------|
| [01] 地域におけるグループ支援の歴史と特長 | (川上) |
| [02] グループ支援とは、グループ支援に用いられる諸概念 | (川上) |
| [03] グループ育成支援と組織化 | (川上) |
| [04] 地域活動への発展と支援者の基本的姿勢 | (川上) |
| [05] セルフヘルプ・グループの特徴と支援方法 | (川上) |
| [06] 住民組織・地区組織の育成(地区組織活動) | (高橋) |
| [07] 地域ケアシステムの発展過程とチームワーク | (鶴岡) |
| [08] 地区組織活動を通じたソーシャルキャピタルの醸成・活用 | (鶴岡) |

【教科書】

荒賀直子・後閑容子他(2022)：公衆衛生看護学.jp(第5版データ更新版)，インターメディカル。

【参考書】

中村裕美子他(2020)：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術(第4版)，医学書院。

井伊久美子・勝又浜子他(2021)：新版保健師業務要覧(第4版)2022年版，日本看護協会出版会。

【評価方法・評価基準】

定期試験：70%、課題レポート：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：毎回、公衆衛生看護学に関する科目を復習して授業に臨む。(2時間)

事後学習：各回の授業内容を復習しておく。(2時間)

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ、ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは評価しフィードバックする。

【備考】

(保選)保健師国家試験受験資格取得のための選択必修科目

保健師教育課程の履修許可を得た学生のみ履修可能